

ぐんぐん↑↑

盛夏の候、ますますご盛栄のことと思います。保護者の皆様には、普段より本校の教育活動に対してご協力ご理解をいただき、ありがとうございます。



◇◇6月の家庭学習強化週間、7月のノーテレビゲームスマホデーから◇◇

6月に行われた家庭学習強化週間では、5日間の平均学習時間を取りまとめて整理してみました。下の表で になっているのは、その学年で一番多い学習時間の枠です。理想として

	0~30(分)	30~60(分)	60~90(分)	90~120(分)	120~(分)	平均学習時間	理想学習時間
1年生	14人	15人	1人	0人	0人	34分	40分
2年生	20人	16人	3人	0人	0人	34分	40分
3年生	11人	20人	1人	0人	0人	39分	50分
4年生	10人	18人	5人	2人	0人	46分	60分
5年生	4人	9人	12人	3人	0人	61分	80分
6年生	0人	11人	7人	6人	3人	78分	90分

は、学年が上がるごとに の場所が右にずれていくことです。まだ左の方に多い人数が偏っていますが、人数分布で見ると、上記のような傾向が見られていると思います。平均学習時間についても、学年が上がるごとにしっかりと量が増えています。理想の学習時間の目安は、チェックカードにも載せていますように「低学年は40分」、それ以上は「学年×15分程度」です。あくまで目安ですので、その日の予定に合わせて柔軟に取り組んでほしいと思います。

この学習時間は「学校からの宿題に取り組む時間」と「家での学習材を使った学習時間」を合わせたものです。下学年のうち、学校からの宿題にしっかりと取り組むこと、上学年になるにつれ宿題+α（自学、苦手対策、予習…）をするといいですね。普段からがんばりましょう！

達成率 (%)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		全校	
	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月	6月	7月
① ノーテレビ	93%	↓87%	82%	↓80%	97%	↓94%	97%	↓91%	87%	↓97%	79%	↓85%	89%	↓87%
② ノーゲーム	97%	↓87%	93%	↓91%	100%	↓94%	94%	↓97%	90%	↓1100%	82%	↓82%	93%	↓90%
③ ノースマホ	90%	↓84%	91%	↓91%	97%	↓94%	97%	↓94%	90%	↓97%	76%	↓179%	90%	↓88%
④ 学習平均(分)	29分	↓136分	34分	↓135分	37分	↓139分	36分	↓142分	52分	↓52分	71分	↓185分	43分	↓148分
⑤ 読書平均(分)	28分	↓118分	27分	↓121分	21分	↓126分	24分	↓128分	38分	↓132分	24分	↓123分	27分	↓125分
ぼかぼか読書	93%	↓87%	89%	↓89%	100%	↓97%	100%	↓100%	97%	↓91%	88%	↓88%	94%	↓90%
⑥ 家の仕事	93%	↓90%	89%	↓89%	100%	↓97%	86%	↓86%	97%	↓88%	85%	↓85%	92%	↓87%
⑦ 筆箱チェック	97%	↓90%	96%	↓91%	100%	↓97%	100%	↓94%	100%	↓100%	91%	↓88%	97%	↓91%

7月のノーテレビノーゲームノースマホデーは、全体的に少し達成者が少なくなっていました。今後夏休みに入りますので、夏休みの生活リズムを整えるための1つの材料としていただければと思います。一方で、学習時間については、どの学年も増えており、家庭学習の充実が少しずつ進んでいると感じました。8月は取り組みがありませんが、各ご家庭で機会を設けられてもいいかと思います。9月の取り組みでは、達成率がぐんぐん上がると嬉しいです。

◇◇読書感想文にチャレンジしよう!◇◇

長い休みにチャレンジする課題の1つに「読書感想文」があります。毎年「来たか〜!」と思う子ども達や保護者さんも多いと思います。1つの本にじっくり向き合い、そこから感じたこと考えたことを文章にするのは、普段はなかなかできないことですので、こういう長く時間がとれる時に取り組むようにしています。読書感想文は、「課題図書」と「自由図書」の2つに分かれます。「課題図書」は毎年書店に並んでいる低中高で各4冊ずつ決められている本を使います(図書室でも貸出しています)。「自由図書」は、課題図書以外でその学年に適している本だったらどの本でも大丈夫です(図鑑などは除く)。家にあるお気に入りの本でもいいですね。

読書感想文が苦手とする大きな理由としては、「どう書いていいかわからない」、「何を書いていいかわからない」などが挙げられるようです。その結果、本のあらすじをなぞるだけの文章で書いた「なんちゃって感想文」が多くなります。**読書感想文は「読書をして感じたこと思ったことを書いた文章」**であり、「本の紹介文」ではありません。つまり、「登場人物が〇〇した。」ではなく、「(読んだ)ぼくは△△だと思う」、「(読んだ)私なら□□するなあ」…など、文章中の主語はあなた(読み手)でなくてははいけないのです。極端に言えば、あなたの考えや意見が8割で本の内容は2割くらいでもいいのです。苦手だと感じている人も、**夏の課題(夏にチャレンジ)の付録**



として「**読書感想文の書き方**」といったものも付いていると思います。それを参考にしながら、ぜひ楽しく読んだ本について感じたことを文章にしてほしいです。以下は読書感想文についての資料を整理したものです。 ↓引用：権藤順子先生

と	「どう上人物によりそって考える」…主役、支える人、もの、まわりの自然(背景、環境)
く	「くらべる」…行動、心情、環境、時代、制度、考え方、文化、他国の本と比べる。
しょ	「しょう介したい相手を想定する」…〇〇を知らない母へ、行ったことがない弟へ、等。
かん	「かんがえが変化したところを見つける」…言葉、出来事、情景描写、文体、構成、等。
そう	「そうぞうしてその後を書く」…自分のその後、登場人物のその後、物語世界のその後、等。
文	「文体も工夫する」…書き出し、結び(終わり)の工夫、本と自分のエピソードの割合を工夫。
～感想文の型の例～	
低：主人公型(一体型)…主人公と一緒に物語を楽しむ。 中：友達型(並行)…主人公と話し、自分の考えも交える。 高：自立型(出発)…主人公の言動をヒントに自分に生かす。	～書き出しのヒント～
・「」、会話、音 ・呼びかけ、問いかけ ・自分のエピソード ・本を読んで実行したいこと、等	・キーワード ・疑問、驚き ・将来の夢
～結び(終わり)のヒント～	
・～したい(作りたい、伝えたい、役立てたい、次はこんな〇〇に出会いたい…) ・書き出しと同じことば ・主人公の一言 ・作者が伝えたい言動 ・登場人物のその後を予想 ・自分の未来、周囲の未来、環境の未来、等	～中身を書くヒント～
	① 内容を小分けにして書く。 ② 書き出しと結びを先に書く。 ③ 本を選んだわけ、伝えたい相手を書く。 ④ 心に残った本の中のことば、出来事を書く。 ⑤ 本から考えた自分のエピソードを書く。 ⑥ 友達や家族の感想を聞いて書く。 ⑦ ①～⑥を自分の考えを加えてつなぎながら書く。

◇◇1学期までの内容をしっかり復習できます◇◇

夏休みは7月21日～8月28日までの39日間です。その間に補習授業をする学年やサマースクールに来る学年、諸富町子ども寺子屋などに参加する子もいるでしょう。どちらにしても長い休みになりますので、学習面では今までの苦手なところに手を入れて、しっかりと補充することができる機会にしてほしいです。今の学年の内容はもちろん、これまでの学年の復習内容に手を出してみると学力アップ間違いなし!だらっとした夏休みではなく、**学習面もそれ以外でも充実した夏休み**にしてほしいです。そして、**2学期のよいスタート**をきりましょう!